

2014年（平成26年） 9月 692号

試練によつての勝利

マリノ E. デハクト Jr.

試練に出会うことは成長するチャンスだと昔から言われています。確かにその通りで、私たちが試練を乗り越えることができても、できなくても必ず学ぶことがあるからです。とくに試練に出会った時、それを前向きにとらえることができれば失敗しても絶望することにはなりません。そのため同じような試練に二回目に出会うと乗り越えられる可能性が高くなります。私たちは試練に出会うことを望んではいないのですが、この世にいる限り避けることはできないのです。ですから試練に対して私たちはそれを避けることより、上手く立ち向かうことが大切です。

主イエスははっきりおっしゃいました。「わたしについて来たい者は、自分を捨て、日々、自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい。」と。ご存じのように旧約の預言によればメシアが来られる時にはすべて新しくなり、この不完全な世界を再建されると預言されましたが、その前この同じメシアは受難を受けることになっています。預言者ゼカリヤによると「彼らは、彼ら自らが刺し貫いた者であるわたしを見つめ、独り子を失ったように嘆き、初子の死を悲しむように悲しむ。」とあります。この預言は主イエスが十字架に付けられた時、実現したと皆さん分かると思います。十字架の死によってイエス様は栄光を受けて聖なる父の元に戻られました。私たちは信仰によってそのイエス様の栄光の姿にいつかあずかるようになることを期待しています。私たちもイエス様のように自分の十字架を担わなければならないのです。この担わなければならない十字架とは私たちが日常生活の中で出会っている試練がそうだとと言えるでしょう。例えば、体の弱さとか、人間関係の難しさとか、契約を守ることなどです。聖パウロは「あなたがたは皆、信仰により、キリスト・イエスに結ばれて神の子なのです。洗礼を受けてキリストに結ばれたあなたがたは皆、キリストを着ているからです。」とおっしゃいました。この言葉によって私たちはどんな試練に出会ってもイエス様が私たちと共におられ、支えてくださっているということが分かります。もちろんこれは主イエスに基づいている信仰がないと気付くことができません。そしてこの苦しみによって私たちは主キリストの受難に繋がれているので、彼の勝利もいつか分かち合うことができるのです。キリストと同じように忍耐を持ってこの与えられた試練、つまり自分の十字架を担いましょう。主イエスは私たちのことをよく御存知なので、私たちに無理なことはおさせになられません。主キリストは私たちがどこまでできるか分かっているらしい

f

やるので、困難なことを受ける時も彼に信頼して恐れずに神のみ旨に従い、歩んでいきましょう。